BFGoodrich Tires
TAKE CONTROL

BFGoodrich Tires
TAKE CONTROL

BFGoodrich Tire Size

外径 (inch)	外径 (mm)	Mud-Terrain T/A KM2	All-Terrain T/A KO2
36-37	934	37X12.50R17LT（318mm）	
35-36	898		LT325/60R20（331mm）
34-35	884	LT315/75R16（313mm）	
	883	35X12.50R18LT（318mm）	35X12.50R15LT（318mm）
		35X12.50R17LT（318mm）	
		35X12.50R15LT（318mm）	
	878		LT285/65R20（292mm）
			LT315/75R16（313mm）
	877		35X12.50R16.5LT（318mm）
	874		LT315/70R17（323mm）
33-34	853		LT305/65R18（311mm）
	848		LT295/75R16（294mm）
	846	LT255/85R16（255mm）	
	844		LT305/55R20（316mm）
	840	LT305/70R16（311mm）	
		LT285/75R16（286mm）	
32-33	838	LT285/70R17（292mm）	
	834		LT285/75R16（286mm）
	832	33X12.50R15LT（318mm）	
		33X10.50R15LT（268mm）	
	826		33X12.50R16.5LT（318mm）
			33X10.50R15LT（268mm）
			33X12.50R15LT（318mm）
	822		LT285/55R20（297mm）
31-32	812	LT235/85R16（235mm）	
	810	LT265/70R17（272mm）	
		LT265/75R16（267mm）	
	807	32X11.50R15LT（290mm）	
	806		LT235/85R16（235mm）
	804		LT265/70R17（272mm）
			LT265/75R16（267mm）
	801		LT265/65R18（272mm）
			32X11.50R15LT（290mm）
	792		LT275/70R16（279mm）
	790		LT275/65R17（279mm）
30-31	781	31X10.50R15LT（268mm）	
	780	LT245/75R16（248mm）	
	778		LT265/70R16（272mm）
	776		LT265/65R17（272mm）
	775		31X10.50R15LT（268mm）
	774		LT245/75R16（248mm）
	770	LT255/70R16（260mm）	
	764		LT255/70R16（260mm）
29-30	756	30X9.50R15LT（240mm）	
	750	LT225/75R16（223mm）	LT245/70R16（248mm）
			30X9.50R15LT（240mm）
	744		LT225/75R16（223mm）
	742	LT235/70R16（240mm）	
	739	LT235/75R15（235mm）	
28-29	736		LT235/70R16（240mm）
	733		LT235/75R15（235mm）
	722		LT225/70R16（228mm）
27-28	709	LT215/75R15（216mm）	
	708		LT215/70R16（221mm）
	703		LT215/75R15（216mm）

※上記、表中の()はタイヤ断面幅です。

BFGoodrich Tires Catalog 2015

www.bfgoodrichtires.co.jp/

BFGoodrich
Mud-Terrain T/A

BFGoodrich
Mud-Terrain T/A

BFGoodrich

BFGoodrich
Mud-Terrain T/A

BFGoodrich
Mud-Terrain T/A

BFGoodrich
All-Terrain T/A

Restaurants
BFGoodrich
All-Terrain T/A

BFGoodrich

All-Terra

自然の洗礼を受け都会に礼賛される。
そう、唯一無二の存在。

この空が、ひと続きであるならば。
過酷な太陽を追いかけよう。街に降る雨を迎えにいこう。
やさしい星に抱かれよう。コンクリートの森のささやきを聴こう。

どこまでも果てしなく。そして、あまねく経験をひっさげて。
この地上のすべてに「生き様」をリアルに刻んでいこう。

1870　ベンジャミン・フランクリン・グッドリッチによってBFGoodrichが設立される。

1896　米国で初の自動車用空気入りタイヤWintonを販売。

1910　米国で初めてコードを使用したタイヤBFGoodrich Silvertownを開発。
ゴムの中にカーボンブラックを混ぜ、耐摩耗性と摩耗寿命を向上させた。
こうして、タイヤの色は一気に白から黒へと変わった。

1924　酸化やひび割れ、摩耗を抑える化学品を導入。
1929年にはすべての米国製タイヤに使用されるようになった。

1927　チャールズ・リンドバーグ、BFGoodrichを装着した
「スピリット・オブ・セントルイス」で、パリに着陸。

1940　合成ゴムを使用したタイヤを米国市場に初めて投入。

1947　初のチューブレスタイヤ。

1965　初の米国製ラジアルタイヤ。

1967　ランフラットタイヤの特許を取得。

1970　60シリーズ初のラジアルタイヤRadial T/A発売。
現在、Radial T/Aは第五世代に入っている。
ストリートラジアルタイヤRadial T/A装着、
ポンティアック・ファイアーバードをベースにしたThe Tire Birdが
レース用スリックタイヤ装着車に対して初めて勝利を収めた。

1972　ジョン・グリーンウッドのコルベットに装着されたRadial T/Aが、
ル・マン24時間のGTポールをストリートタイヤとして初めて獲得。

1973　50シリーズ初のラジアルタイヤもまた、Radial T/Aだった。

1976　世界初のクロスカントリー4×4用
高性能ラジアルタイヤRadial All-Terrain T/A発売。

1977　BFGoodrichのタイヤを装着して、スペースシャトルが初の試験飛行。

BFGoodrich Radial All-TerrainT/A装着車は、
Baja1000、Baja500で初優勝。その後も、数々の勝利をあげている。

1978　BFGoodrichはシェビー・ブレーザーをサポート。
ブレーザーは数シーズンにわたって大活躍を演じ、
オフロード界でのBFGoodrichの名声が飛躍的に高まった。

1980　初のオフロード用4×4ラジアルタイヤRadial Mud-Terrain T/A発売。
ジョン・バッファム、BFGoodrich Radial T/Aタイヤを装着して
SCCAプロ・ラリー・オーバーオール・チャンピオンシップ獲得。

1982　初の米国製スピードレンジVのタイヤComp T/A発売。
現在は第4世代に入っている。Comp T/A装着車は
ストリートタイヤとして初めてル・マン24時間IMSA GTクラス優勝に輝く。

1984　BFGoodrich T/Aタイヤを装着したジョン・バッファムが、キプロス・ラリーで勝利。
アメリカ人として初めてユーロピアン・チャンピオンシップ・ラリーの優勝者となった。

1985　IMSAキャメルGTでストリートタイヤとしてBFGoodrich装着車が初勝利。
リバーサイド・レースウェイで開催されたタイムス・グランプリで、
パスピーレーシングのピート・ハルスマーとジョン・モートンが1-2フィニッシュ。
BFGoodrich装着車、GTPで初のポール。

1988　Comp T/Aが米国製のタイヤとして初めて、ポルシェの純正装着タイヤに選ばれる。
アキュラに乗るパーカー・ジョンストンがIMSAインターナショナル・セダン・カップで勝利。

1989　パスピー・レーシング・ポルシェ962がデイトナ24時間とパーム・ビーチ・グランプリで優勝。
BFGoodrich T/Aタイヤが、ポルシェにIMSAGTPにおけるこの年の全勝利をもたらした。

1990　コンプテック・レーシングがデル・メアで開催された
IMSAキャメル・ライト・レースで初勝利。この後、BFGoodrichを装着した
アキュラ・スパイスが1991年、1992年と2年続けてシリーズを征した。

1991　世界初のウルトラ・ハイパフォーマンス・クロスカントリー4×4タイヤBaja T/A発売。
ラ・カレーラ・パンアメリカーナでBFGoodrich T/Aタイヤ装着車が
1-2-3フィニッシュ。

1993　初のロッククライミング・タイヤであるRadial All-Terrain T/Aと
Radial Mud-Terrain T/Aのモアブ・エディション発売。

1994　BFGoodrichT/Aタイヤを装着したロッド・ミレンが
名高いパイクス・ピーク・ヒルクライムでレコードを樹立する。

1995　BFGoodrichは世界初のラジアルプライの
ドラッグレーシングタイヤComp T/A Drag Radialを発売。

1996　Comp T/A Drag Radialが、ナショナル・マッスルカー協会の
ストックETチャンピオンシップを獲得。

1998　BFGoodrichタイヤ、G-Force T/Aレースタイヤを発売。
SCCAトランザムシリーズの公式スポンサーとなる。

2000　BFGoodrichタイヤ、アメリカンスピードアソシエーション（ASA）の
ストックカーレーシングシリーズの公式スポンサーとなる。
All-Terrain T/A^{KO} 発売。

2001　世界初のハイパフォーマンスカラータイヤScorcher T/A日本初上陸。

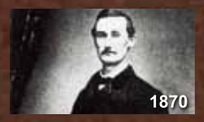
2002　BFGoodrichタイヤ、全日本GT選手権初参戦。
装着車GT300クラス、ドライバーズチャンピオン獲得。
Mud-Terrain T/A^{KM} 発売。

2003　BFGoodrichタイヤはオフロードレーシングとロック・クローリングクラスで
年間241勝という快挙を成し遂げた。
Krawler T/A^{KX} 発売。

2004　BFGoodrichタイヤ装着車が2004年パリ・ダカールラリーを3連覇。
またBaja1000では驚異的な19回連続の総合優勝を達成。

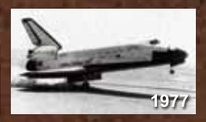
2008　Mud-Terrain T/A^{KM2} 発売。

2012　BFGoodrichタイヤを装着したMINI ALL4 Racingsが
ダカールラリーで優勝。BFGoodrichにとって12連勝を達成。


1870

1927

1972


1977

1977

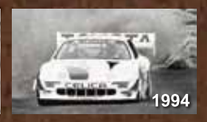
1980

1984

1985

1988

1989


1994

2003

Mud-Terrain T/A® KM2

マッドテレーン　ティーエー　ケーエムツー　［オフロード重視タイプ］［レイズドホワイトレター］

Key Technology

Krawler-TEK システム

ロッククローリング競技で強さを誇る Krawler T/A™ で培ったテクノロジーを Mud-Terrain T/A™ のサイドウォールに応用。
3つのキーテクノロジーを採用し、サイドウォールの強度UPに貢献。

①アグレッシブ サイドウォール ラグ
・大きく厚みのある突起がサイドウォールを保護し、トラクションを高めます。

②カットプルーフ サイドウォール コンパウンド
・悪路でのダメージに強いコンパウンドで、よりハードなオフロードへのチャレンジを可能にします。

③強化ケーシングコード
・従来品Mud-Terrain T/A™と比べ33%太いケーシングコードを採用。オフロードでの耐久性UPに貢献。

セルフクリーニング トラクションバー

・マッドでの泥詰まりを抑制、ノイズの軽減にも寄与します。

リニアフレックスゾーン

・横方向につながったグルーブで柔軟性を確保。オフロードの障害物を包み込むようにグリップします。

レイズド ホワイトレター

・ホワイトレターとショルダーグルーブのコンビネーションが、装着車をクールにドレスアップ。

3プライ ポリエステルカーカス（Tri Gard® 構造）

・3プライポリエステルカーカスの採用により、BFGoodrich伝統の強靭さを追求。パンクや外傷からトレッドやサイドウォールを守る。

4×4 ドレスアップ　マッド トラクション　オフロード　リム プロテクター　耐久性

性能特性イメージ図

マッド	★★★★★
ダート	★★★★
ロック	★★★★
舗装路（ドライ）	★★★
舗装路（ウェット）	★★★

	タイヤサイズ			商品コード	断面幅（mm）	外径（mm）	計測リム幅（インチ）	適合リム幅（インチ）
18"	35X12.50R18LT	118Q	LRD RWL	026330	318	883	10	8.5-11
17"	LT265/70R17	121/118Q	LRE RWL	034160	272	810	8	7-8.5
	LT285/70R17	121/118Q	LRD RWL	026300	292	838	8.5	7.5-9
	35X12.50R17LT	119Q	LRD RWL	026340	318	883	10	8.5-11
	37X12.50R17LT	124Q	LRD RWL	026320	318	934	10	8.5-11
16"	LT235/70R16	104/101Q	LRC RWL	028640	240	742	7	6-7.5
	LT255/70R16	115/112Q	LRD RWL	028670	260	770	7.5	6.5-8
	LT305/70R16	118/115Q	LRD RWL	028710	311	840	9	8-9.5
	LT225/75R16	110/107Q	LRD RWL	028630	223	750	6	6-7
	LT245/75R16	120/116Q	LRE RWL	028660	248	780	7	6.5-7.5
	LT265/75R16	123/120Q	LRE RWL	028690	267	810	7.5	7-8
	LT285/75R16	126/123Q	LRE RWL	028700	286	840	8	7.5-9
	LT315/75R16	121Q	LRD RWL	026310	313	884	8.5	8-10
	LT235/85R16	120/116Q	LRE RWL	028650	235	812	6.5	6-7
	LT255/85R16	123/120Q	LRE RWL	028680	255	846	7	6.5-8
15"	LT215/75R15	100/97Q	LRC RWL	028600	216	709	6	5.5-7
	LT235/75R15	104/101Q	LRC RWL	028610	235	739	6.5	6-7
	30X9.50R15LT	104Q	LRC RWL	028720	240	756	7.5	6.5-8.5
	31X10.50R15LT	109Q	LRC RWL	028730	268	781	8.5	7-9
	33X10.50R15LT	114Q	LRC RWL	028750	268	832	8.5	7-9
	32X11.50R15LT	113Q	LRC RWL	028740	290	807	9	8-10
	33X12.50R15LT	108Q	LRC RWL	028760	318	832	10	8.5-11
	35X12.50R15LT	113Q	LRC RWL	028770	318	883	10	8.5-11

●断面幅、外径はTRA規格によるものです。実寸値とは異なる場合があります。　●サイズによっては、写真とトレッドパターンが若干異なる場合があります。　●サイズによっては、サイドウォールマーキングが異なる場合があります。 各サイズともチューブレスタイプです。　●LRCはロードレンジCです。LRDはロードレンジDです。LREはロードレンジEです。空気圧の設定は販売店にてお尋ね下さい。　●RWLはレイズドホワイトレターです。

All-Terrain T/A® KO

オールテレーン　ティーエー　ケーオー　［オールラウンドタイプ］［レイズドホワイトレター］

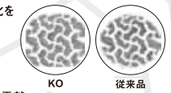
Key Technology

ショルダーロック テクノロジー ShoulderLock™ Technology

・従来比40%拡大したワイドなショルダーグルーブが、強力な牽引力と優れたハンドリング性能を発揮。
・ダート、マッド、サンドにおける低圧時のトラクションをより効率的に。
・サイドウォールのトラクションバーが牽引力に貢献。
・アッパーサイドウォールとショルダー部に革新的なデザインを採用。

デュアル トレッド ラディアス

・最先端のプロファイルデザインを採用することで、面圧配分の最適化を実現。効果的なフットプリントに。
・偏摩耗に強く、トレッド寿命、トラクション性能に貢献。



サイプ テクノロジー

・トラクション性能をあげるためにエッジを増加。雨天の高速走行でも高い安定性。
・独自のトレッドブロック形状が、オン&オフロードでの安定走行とロングライフ＆静粛性を実現。
・オフロードで岩に対する食い付きを強化。

リムプロテクター

・リムプロテクターがホイールの保護に貢献。アグレッシブなドライビングにも対応。

レイズド ホワイトレター

・ホワイトレターとショルダーグルーブのコンビネーションが、装着車をクールにドレスアップ。

3プライ ポリエステルカーカス（Tri Gard® 構造）

・3プライポリエステルカーカスの採用により、BFGoodrich伝統の強靭さを追求。パンクや外傷からトレッドやサイドウォールを守る。

4×4 ドレスアップ　ステアリング コントロール　オフロード　リム プロテクター　耐久性

性能特性イメージ図

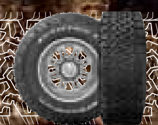
舗装路（ドライ）	★★★★
舗装路（ウェット）	★★★★
ダート	★★★★
マッド	★★★
ロック	★★★

	タイヤサイズ			商品コード	断面幅（mm）	外径（mm）	計測リム幅（インチ）	適合リム幅（インチ）
20"	LT285/55R20	117/114T	LRD RWL	025880	297	822	9	8-10
	LT305/55R20	121/118S	LRE RWL	069810	316	844	9.5	8.5-11
	LT325/60R20	126/123S	LRE RWL	032830	331	898	9.5	9-12
	※ LT285/65R20	127/124S	LRE RWL	069800	292	878	8.5	8-10
18"	※ LT265/65R18	122/119R	LRE RWL	069770	272	801	8	7.5-9.5
	LT305/65R18	124/121R	LRE RWL	069780	311	853	9	8.5-11
17"	LT265/65R17	120/117S	LRE RWL	070970	272	776	8	7.5-9.5
	LT275/65R17	121/118S	LRE RWL	070980	279	790	8	7.5-9.5
	※ LT265/70R17	112/109R	LRC RWL	070650	272	804	8	7-8.5
	○ LT315/70R17	121/118R	LRD	014280	323	874	9.5	8.5-10
16.5"	33X12.50R16.5LT	118R	LRD RWL	067370	318	826	9.75	8.25-9.75
	35X12.50R16.5LT	123R	LRD RWL	004280	318	877	9.75	8.25-9.75
16"	LT215/70R16	100/97R	LRC RWL	000370	221	708	6.5	5.5-7
	LT225/70R16	102/99R	LRC RWL	003480	228	722	6.5	6-7
	LT235/70R16	104/101S	LRC RWL	003620	240	736	7	6-7.5
	LT245/70R16	113/110S	LRD RWL	003700	248	750	7	6.5-7.5
	LT255/70R16	115/112S	LRD RWL	003930	260	764	7.5	6.5-8
	LT265/70R16	117/114S	LRD RWL	025310	272	778	8	7-8.5
	LT275/70R16	119/116S	LRD RWL	004030	279	792	8	7-8.5
	LT225/75R16	115/112S	LRE RWL	029570	223	744	6	6-7
	LT245/75R16	120/116S	LRE RWL	068880	248	774	7	6.5-8
	※ LT265/75R16	123/120S	LRE RWL	031900	267	804	7.5	7-8
	※○ LT285/75R16	126/123Q	LRE	039610	286	834	8	7.5-9
	LT295/75R16	123/120R	LRD RWL	004070	294	848	8	7.5-9.5
	※ LT315/75R16	121Q	LRD RWL	895890	313	878	8.5	8-10
	LT235/85R16	120/116S	LRE RWL	003680	235	806	6.5	6-7
15"	LT215/75R15	100/97S	LRC RWL	003180	216	703	6	5.5-7
	LT235/75R15	104/101S	LRC RWL	003400	235	733	6.5	6-7
	30X9.50R15LT	104S	LRC RWL	070960	240	750	7.5	6.5-8.5
	31X10.50R15LT	109S	LRC RWL	070950	268	775	8.5	7-9
	33X10.50R15LT	114R	LRC RWL	069490	268	826	8.5	7-9
	32X11.50R15LT	113R	LRC RWL	004120	290	801	9	8-10
	33X12.50R15LT	108R	LRC RWL	004130	318	826	10	8.5-11
	35X12.50R15LT	113Q	LRC RWL	881430	318	883	10	8.5-11

●断面幅、外径はTRA規格によるものです。実寸値とは異なる場合があります。　●サイズによっては、写真とトレッドパターンが若干異なる場合があります。　●サイズによっては、サイドウォールマーキングが異なる場合があります。各サイズともチューブレスタイプです。　●LRCはロードレンジCです。LRDはロードレンジDです。LREはロードレンジEです。空気圧の設定は販売店にてお尋ね下さい。　●RWLはレイズドホワイトレターです。　○印の商品はレイズドブラックレターとなります。　※16.5インチはビード部形状15°テーパーのリムにのみ装着できる特殊サイズです。破裂の危険性を避けるため16インチ、17インチ等サイズの異なるリムには絶対に装着しないでください。　※印は在庫を販売店にお問い合わせください。

Off-road scene 4X4MAGAZINE YouTube

2015 Summer ALL-TERRAIN T/A® KO2 日本上陸



special thanks to JAOS Tiger Auto

タイヤ選びのポイント。 正しい知識で、安全に。

◎新車純正装着タイヤとの外径差を確認しましょう。
◎新車純正装着タイヤとのロードインデックス(荷重指数)を確認しましょう。

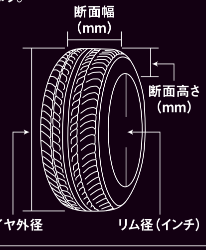
タイヤの選定や調整を下記のように行いましょう。

◎タイヤサイズの見方

偏平率(%)＝タイヤ断面高さ(mm)／タイヤ断面幅(mm)×100

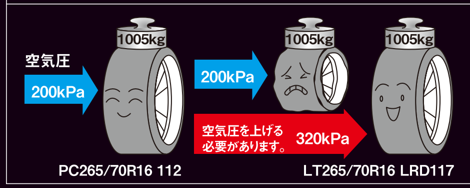
265/70R16112H

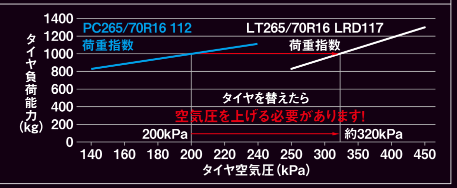
断面幅(mm)　偏平率(%)　タイヤ構造記号(ラジアル)　リム径(インチ)　ロードインデックス(荷重指数)　速度記号



例：新車純正装着サイズ＝PC265/70R16 112 ≫ 変更後サイズ＝LT265/70R16 LRD117

空気圧を上げて新車純正装着タイヤと、同等の状態にする必要があります。





⚠ 現在ご使用のタイヤをハイフローテーションやLTサイズへ変更する際は、必ず空気圧を車輌指定空気圧より高めに設定して下さい!!

国産4×4クロスカントリー車などには乗用車用規格[*1]のタイヤが純正装着されています。このタイヤをLT表記[*2]のタイヤに交換する場合、タイヤ外径、タイヤ幅等の寸法が純正サイズと同クラスであっても規格上、空気圧を高めに設定する必要があります。これはLT表記サイズ(ライトトラック用規格)のタイヤが乗用車用タイヤより高めの空気圧で使用する構造になっている為です。これらLT規格のタイヤを低めの空気圧で使用すると偏摩耗やタイヤへの無理なたわみの増加などにより疲労が蓄積し、タイヤに悪影響を及ぼす事が考えられますので注意が必要です。乗用車用規格の純正指定空気圧に対し一般的には50kPa(0.5kgf/cm²)～100kPa(1.0kgf/cm²)程度高めに設定する必要がありますが設定空気圧は各車輌、タイヤサイズにより異なりますので必ず販売店にご相談下さい。
＊1 乗用車用規格のタイヤサイズ。例:265/70R16 112S、P215/75R15 100S 等。　＊2 LT表記とはライトトラック用の規格のタイヤを表し、サイズの一部に「LT」表記が入る。例：LT 265/75R16D 120Q、30×9.50R15LT 104Q LRC 等。

車両への装着にあたっては道路運送車両法の保安基準に適合(車わく、フェンダー等との接触または回転部分の突き出しがない等)することを確認してください。

1.タイヤ、チューブ等の選定

●自動車製作者が指定した標準タイヤ又はオプションタイヤの使用を基本とし、その他のタイヤを選定される時はタイヤ販売店等にご相談下さい。
●積雪又は凍結路では、冬用タイヤを全車輪に装着して下さい。夏用タイヤは、積雪又は凍結路において、冬用タイヤに比べて制動距離が長くなります。また、冬用タイヤは全車輪に装着しないと挙動が安定しません。
尚、冬期が過ぎたら一般路(乾燥路・湿潤路)走行に適した夏用タイヤに交換することを推奨します。
●全車輪とも、同一のサイズ、種類、構造、タイプ※のタイヤを使用して下さい。但し、自動車製作者又はタイヤ製作者による個別の指示がある場合はその指示に従って下さい。※タイプとは夏用タイヤ、冬用タイヤ等をいう。
⚠警告 ●サイズ、種類、構造、タイプの異なるタイヤを同一車軸に使用すると、タイヤ性能が異なるため、事故に繋がるおそれがあるので混用しないで下さい。(応急用タイヤは除きます。)
⚠警告 ●リ・グルーブ、穴あけ等の加工をしたタイヤは、損傷したり、事故に繋がるおそれがあるので、使用しないで下さい。但し、「REGROOVABLE」表示のあるタイヤで、規定された方法で加工されたものは除く。
●チューブ、フラップは、タイヤサイズと同一サイズ表示のあるもので、バルブは車両及びホイールに適合するものを使用して下さい。
●新品のチューブタイプのタイヤには、新品のチューブ、フラップを使用して下さい。
●ホイールの選定はタイヤ販売店等に相談しタイヤサイズ及び車両に適合したホイールを使用して下さい。

2.適正使用と日常点検

⚠警告 ●タイヤの空気圧は、走行前の冷えている時に、エアゲージにより定期的(最低1ヶ月に1度)に点検し、自動車製作者又はタイヤ製作者の指定空気圧に調整して下さい。
自動車製作者の指定空気圧は車両の取扱い説明書、ドア付近等に表示されています。不明の場合はタイヤ販売店等にご相談下さい。
特に偏平タイヤの空気圧不足は、見た目にわかりづらい為、必ずエアゲージによる点検をして下さい。
●タイヤに、亀裂がないか又は釘、金属片、ガラス等が刺さっていたり、溝に石その他異物を噛み込んでいないか確認して下さい。異物を発見した時は、タイヤ販売店等にご相談の上取り除いて下さい。
⚠危険 ●コードに達している外傷・ゴム割れのあるタイヤは使用しないで下さい。タイヤ損傷発生に繋がるおそれがあります。修理可能か否かについては、タイヤ販売店等にご相談下さい。
⚠警告 ●タイヤの溝深さの使用限度は残り溝1.6mmです。それ以前に新品タイヤと交換して下さい。
●高速道路を走行する場合は、タイヤの残り溝深さは次表以上であることを確認して下さい。

タイヤの種類	溝深さ
トラック及びバス用タイヤ	3.2mm
小形トラック用タイヤ	2.4mm

●タイヤは自動車の安全にとって重要な役割を担っています。一方、タイヤは様々な材料からできたゴム製品であり、ゴムの特性が経時変化するのに伴い、タイヤの特性も変化します。その特性の変化はそれぞれ環境条件・保管条件及び使用方法(荷重、速度、空気圧)などに左右されますので、点検が必要です。従って、お客様による日常点検に加え、使用開始後5年以上経過したタイヤについては、継続使用に適しているかどうか、すみやかにタイヤ販売店等での点検を受けられることをお奨め致します。また同時にスペアタイヤについても点検を受けられることをお奨め致します。また、外観上使用可能のように見えたとしても(溝深さが法律に規定されている値まですり減っていない場合も)製造後10年(注)経過したタイヤ(含むスペアタイヤ)は新しいタイヤに交換されることをお奨め致します。なお、車両メーカーがその車の特性からタイヤの点検や交換時期をオーナーズマニュアル等に記載している場合もありますので、その記載内容についてもご確認下さい。《注:ここに記載した10年という年数は、あくまで目安であって、そのタイヤの実際の使用期限(すなわち、継続使用に適していないこと、または安全上の問題があるかもしれないことを示す時期)を示すものではありません。従って、環境条件・保管条件及び使用方法によって、この年数を経過したタイヤであっても、継続使用に適している場合もあれば、この年数を経過していないタイヤであっても継続使用に適していない場合もあります。10年を経過していないタイヤであっても、上記の環境条件等によっては交換する必要がある場合があることにご注意ください。また、この10年という年数及びタイヤ販売店等による点検のお奨め時期である使用開始後5年という年数は、いずれも各タイヤメーカー・販売会社・販売店による品質保証期間・期限を示すものでもありません》
(注)上記は乗用車用タイヤ、小形トラック用タイヤに適用。
⚠警告 ●積雪及び凍結路走行の場合は、冬用タイヤの残り溝が新品時の50%以上あることを確認して下さい。使用限度は接地部に冬用タイヤの摩耗限度を示すプラットホームが露出しているか否かで判断して下さい。溝深さが50%未満のタイヤは、冬用タイヤとしては使用できません。

⚠警告 ●タイヤ損傷に繋がるおそれがあるので、車両に指定された積載量、定員を超えて使用しないで下さい。
●複輪タイヤの場合は、外径差が次表の許容範囲内であることを確認して下さい。

タイヤ断面幅の呼び	外径差(mm)	
	ラジアルタイヤ	バイアスタイヤ
9.00(相当サイズ)以上	8以内	12以内
8.25(相当サイズ)以下	6以内	8以内

(注)9.00(相当サイズ)以上とはメトリック表示では255以上、8.25(相当サイズ)以下とはメトリック表示では245以下とする。
●スペアタイヤの空気圧は、定期的(最低1ヶ月に1度)に点検し、自動車製作者が指定した値に調整してお使い下さい。
●タイヤの位置交換は、車両の使用条件に合わせて、スペアタイヤも含め適正な方法で定期的に行って下さい。(但し、Tタイプ応急用タイヤは除く。)
●タイヤサイド部に回転方向又は取付け方法等の指定があるタイヤは、その指定の通りに正しく装着して下さい。
●安全走行を確保するためタイヤ点検時に合わせて、リムバルブも劣化・亀裂が無いことを点検して下さい。リムバルブに劣化・亀裂がある場合はタイヤ販売店等にご相談下さい。また、バルブキャップがついているかどうかも確認して下さい。
●ホイールには、亀裂、変形等の損傷や著しい腐食がないことを確認して下さい。
●瞬間パンク修理剤又はタイヤつやだし剤等で、タイヤに劣化等有害な影響を及ぼすものは使用しないで下さい。
●応急用タイヤ、パンク応急修理用具で修理したタイヤ及びランフラットタイヤのパンク時の使用に関しては、自動車製作者の指定に従って下さい。

3.運転時の遵守事項

⚠警告 ●タイヤを傷つけるおそれがあるので、道路の縁石等にタイヤの側面を接触させたり、道路上の凹みや突起物乗り越しなどは避けて下さい。
⚠警告 ●急発進、急加速、急旋回及び急停止は危険ですので避けて下さい。特に、湿潤路、積雪路及び凍結路は滑りやすく、事故に繋がるおそれがあるため、急カーブでは減速するなど、道路状況に応じた適切な運転をして下さい。
●走行中は、常に走行速度に応じた車間距離を確保して下さい。特に湿潤路、積雪路及び凍結路走行時は充分な車間距離を確保して下さい。
⚠警告 ●走行中に車両が操縦不安定になったり、異常な音及び振動を感じたときは、すみやかに安全な場所に停車して、車両及びタイヤを点検して下さい。タイヤに変形等異常がないか確認して下さい。また、外観上、異常がなくても、できる限り低速で移動し、タイヤ販売店等へ点検を依頼して下さい。
●タイヤのタイプやサイズを変更した場合は、タイヤの運動特性が変化するので、慣れるまでは走行速度等に注意して運転して下さい。
●冬用タイヤは積雪路及び凍結路面性能を重視しています。乾燥路及び湿潤路で使用する場合は、走行速度に注意し、急制動、急旋回等を避け、安全運転に心がけて下さい。
●タイヤの制動性能は、車両の走行速度、路面状況、タイヤ溝の摩耗量及びタイプ(夏用タイヤ、冬用タイヤ等)により異なります。冬用タイヤは積雪路及び凍結路面性能を重視しています。特に、乾燥路及び湿潤路で使用する場合は、実際の交通(速度)規制に従い、走行速度に注意し、急発進、急制動、急旋回を避け、安全運転に心がけて下さい。

4.タイヤチェーン

●タイヤチェーンは、タイヤサイズに適合するサイズのものを駆動輪又は自動車製作者が指定する位置のタイヤに装着して下さい。
●タイヤにチェーンを装着して積雪又は凍結していない道路を走行すると、タイヤ、タイヤチェーン及び車両を損傷したり、スリップするおそれがあるので、避けて下さい。
●タイヤチェーンを装着した場合は、次表の速度で走行して下さい。

道路	走行速度(km/h)	
	金属製	非金属製
積雪路及び凍結路	30以下	50以下

5.リム組み時の注意事項

⚠警告 ●エアコンプレッサーの調節弁は、タイヤ破裂の危険があるので、タイヤの使用空気圧に応じ、次表により正しく調整して下さい。

エアコンプレッサー調節弁の最高調整空気圧

タイヤの使用空気圧区分(kPa(kgf/cm²))	調節弁の最高調整空気圧(kPa(kgf/cm²))
400(4.0)まで	500(5.0)
400(4.0)超～600(6.0)まで	700(7.0)
600(6.0)超～1,000(10.0)未満	1,000(10.0)

⚠危険 ●破裂の危険を避けるため、タイヤを安全囲いの中に入れる等、安全措置を講じた上、空気を充てんして下さい。
⚠危険 ●空気充てん時又は充てん後タイヤサイドウォール部からの異音が聞こえたら、ただちに作業を中止し、避難すること。
⚠警告 ●自動車用タイヤの組立て時のビードシーティング圧は、300kPa(3.0kgf/cm²)とし、これを超える圧は注入しないで下さい。ビードシーティングとは、タイヤ組立て時に、タイヤの両側のビードがリムのビードシート部に周上均等にのった状態(ハンプ付リムは、ビードがハンプを越えた状態)をいいます。
Tタイプ・折りたたみ式応急用タイヤ、ランフラットタイヤ、その他製造業者の指定がある場合は、それに従って下さい。
●ビードシーティング圧以内の空気を注入し、タイヤの両側のビードがリムのシート部に周上均等にのっていることを確認した後、使用空気圧に充てん又は調整して下さい。(均等にのっていない場合は一旦空気を抜き、タイヤをリムから外してタイヤ、リム等に異常が無い事を確認し、ビード及びリムに潤滑剤を再度塗布する)
⚠警告 ●空気を充てん後、バルブキャップを取りつける前に、バルブコアからの空気漏れ、リム部やバルブまわりからの空気漏れがないことを確認した後、必ずバルブキャップを装着し、しっかり締め付けて下さい。

6.タイヤの保管

●タイヤ、チューブは、直射日光、雨及び水、油類、ストーブ類の熱源及び電気火花の出る装置に近い場所などを避けて保管して下さい。

7.一般知識

(例)205/ 60R15 90S

205:タイヤ断面幅の呼称(mm)　60:偏平率(%)　R:ラジアル構造
15:リム径の呼称(インチ)　90:ロードインデックス(荷重指数)　S:速度記号

(例)30×9.50R15LT 104R
①　②

30:タイヤ外径の呼称(インチ)　9.50:タイヤ断面幅の呼称(インチ)
①R:ラジアル構造　15:リム径の呼称(インチ)
104:ロードインデックス(荷重指数)　②R:速度記号

8.速度記号の見方

速度記号	最高速度km/h	速度記号	最高速度km/h	速度記号	最高速度km/h
L	120	S	180	ZR※	240km/h超
P	150	T	190	W	270
Q	160	H	200	Y	300
R	170	V	210	(Y)	300km/h超

速度記号は、規定の条件下でそのタイヤが走行できる最高速度を示す記号です。
※ZRは速度カテゴリーです。

9.ロードインデックス(荷重指数)の見方　LI:ロードインデックス

LI	負荷能力(kg)	LI	負荷能力(kg)	LI	負荷能力(kg)	LI	負荷能力(kg)
75	387	90	600	105	925	120	1400
76	400	91	615	106	950	121	1450
77	412	92	630	107	975	122	1500
78	425	93	650	108	1000	123	1550
79	437	94	670	109	1030	124	1600
80	450	95	690	110	1060	125	1650
81	462	96	710	111	1090	126	1700
82	475	97	730	112	1120	127	1750
83	487	98	750	113	1150	128	1800
84	500	99	775	114	1180	129	1850
85	515	100	800	115	1215	130	1900
86	530	101	825	116	1250	131	1950
87	545	102	850	117	1285	132	2000
88	560	103	875	118	1320	133	2060
89	580	104	900	119	1360	134	2120

ロードインデックス(荷重指数)は、規定の条件下で、そのタイヤに負荷できる最大負荷能力(最大荷重)を示す数値です。

10.タイヤの苦情検査

●検査のお申し出は、ご購入された販売店にお申し付けください。
●当カタログ掲載のタイヤ、新車装着タイヤ及び弊社にて輸入された製品以外のPL苦情は補償致しません。
□使用済みタイヤを処理するためには費用がかかっております。
□当カタログに記載されている構造、仕様などは予告なく変更する場合があります。
□タイヤには製造番号が刻印されています。製造番号のうち、下4桁(例1214)の数字は製造年週を示しています。上2桁位置に12は週(12週目)を、下2桁14は年(2014年)を示します。

⚠ タイヤの空気圧不足は危険です!

タイヤは、適正な空気圧(自動車メーカー指定空気圧)が保たれている状態で初めて、充分な性能を発揮します。正しい空気圧管理は安全走行の基本です。

ご存知ですか？ 空気圧は自然に低下します。空気圧が低下すると、タイヤが偏って摩耗するばかりか、損傷を起こしやすくなり、思わぬ事故の原因につながります。

【空気圧不足によるタイヤの損傷】 空気圧が不足するとタイヤの負荷能力が低下します。また、タイヤの動きが大きくなるために異常発熱し、コードやゴムが劣化して、次のような損傷や現象を起こしやすくなります。
1.異常摩耗(片側や両肩部が摩耗しやすい)　2.はく離(セパレーション)やコード切れ

【空気圧の点検・調整】 タイヤの空気圧を確認するときは、タイヤ販売店にて、エアゲージによる点検・調整を行ってください。
❶空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに、自動車メーカーの指定する空気圧に調整してください。 ❷走行中は、タイヤの発熱により空気圧が高くなりますが、高くなった分は絶対に抜かないでください。タイヤが冷えると空気圧は元に戻ります。 ❸空気圧点検後は、バルブからの空気漏れを防ぐため、バルブ口に石鹸水などをつけて空気が漏れていないことを確認の上、必ずバルブキャップをつけてください。 ❹特に、偏平タイヤの空気圧不足は、見た目には分かりづらいため、必ずエアゲージで点検してください。

［提供元：4×4 MAGAZINEチャンネル］ ※本カタログ内の画像は全てイメージ画像です。装着される際は、販売店にご相談ください。

日本ミシュランタイヤ株式会社
〒163-1073　東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー13F
お客様相談室
TEL.0276-25-4411(受付時間：土日祝日を除く月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00)

このカタログの内容を、許可なく転載、複製する事を禁じます。

ご相談とお求めは…

タイヤ公正取引協議会

2015年2月